

フィッチ、三洋信販サービスのスペシャルサービサー格付を「ABSS1-(JPN)」に据え置き

フィッチ・レーティングスー東京/シンガポールー2009年9月30日：

フィッチ・レーティングス（フィッチ）は、三洋信販債権回収株式会社（三洋信販サービス）のアセット・バクト・スペシャルサービサー格付を「ABSS1-(JPN)」（ABSS1 マイナス(JPN)）に据え置いた。

本格付は、整備された内部統制スキームおよびコンプライアンス体制、経験豊富で安定した経営陣・管理職および回収担当者、良好で安定している回収実績、および機能的な IT システムなどの三洋信販サービスの強みを反映したものである。特に 2008 年 7 月にリスク統括部が設置され、同部を中心に全社的なリスク管理・報告体制が整備されたことにより、三洋信販サービスにおけるリスク管理機能がさらに強化されたものになったことをフィッチは確認した。

三洋信販サービスは 2008 年 7 月以降、同社のコアビジネスである無担保・無剰余債権の取得・回収を更に強化してきた。また、収益力とリスク管理の更なる向上を達成するため、2009 年 4 月には回収部門を中心とした組織再編を行い、既存のポートフォリオの回収力を強化するとともに、管理面では買取債権における貸倒引当の厳格化を実施した。

三洋信販サービスは、消費者金融大手の三洋信販株式会社の全額出資による子会社で 1999 年 3 月に設立され、その 2 ヶ月後に法務大臣の許可を受けて営業を開始した。営業開始から 2009 年 6 月末までの取扱債権件数は累計で約 17 万 2 千件となり、元本金額合計も約 5 兆 1,056 億円に達している。

フィッチは、日本のプライマリー、スペシャル、マスターサービサーについて取扱債権の種類別に、最上位の 1（「完全な承認（全般的に優秀なパフォーマンス）」）より 5（「条件付き承認」）の五段階に分けて格付している。なお、各段階に対して、+（プラス）または -（マイナス）の符号を付ける場合があるが、これら+（プラス）または-（マイナス）の符号は、その段階の中でも相対的にレベルが高いことまたは低いことを示している。また、JPN の符号は日本のサービサー格付に付けられるが、当該格付が日本の法的、経済的、社会的環境と関連していることを示すものである。格付の定義など詳細については、フィッチのレポート「日本のサービサー格付基準（2009 年 9 月 4 日）」に記載されている。上記レポートはフィッチのウェブサイトで公開されている（アドレスは日本語：www.fitchratings.co.jp、英語: www.fitchratings.com）。

（本稿は原文「Fitch Affirms Sanyo Shinpan Servicer's Special Servicer Rating At 'ABSS1-(JPN)」（2009 年 9 月 30 日付）をもとに作成されています。）

三洋信販サービスのサービサー格付レポート改訂版（英語および日本語）は、近日中にフィッチの日本語ホームページ及びグローバルウェブサイトに掲載される予定である。

照会先：榊原 みどり（東京）電話：03-3288-2670、上野 光宏 電話：03-3288-2605、工藤 仁章 電話：03-3288-2630

メディア照会先：尾崎 千夏（東京）03-3288-2679

フィッチの格付の定義および格付に使用する用語は弊社のウェブサイト www.fitchratings.com / www.fitchratings.co.jp（日本語）に掲載されています。公表された格付、格付基準、格付手法も同サイトに常時掲載されています。フィッチの行動規範、守秘義務、利益相反、関連会社間のファイアウォール、コンプライアンスおよびその他の方針・手続き等も www.fitchratings.com 上の「行動規範」でご覧いただけます。